

News Letter 2025年6月号

財務の安定化、信用力の向上に！ キャッシュフローのメリットをご紹介します



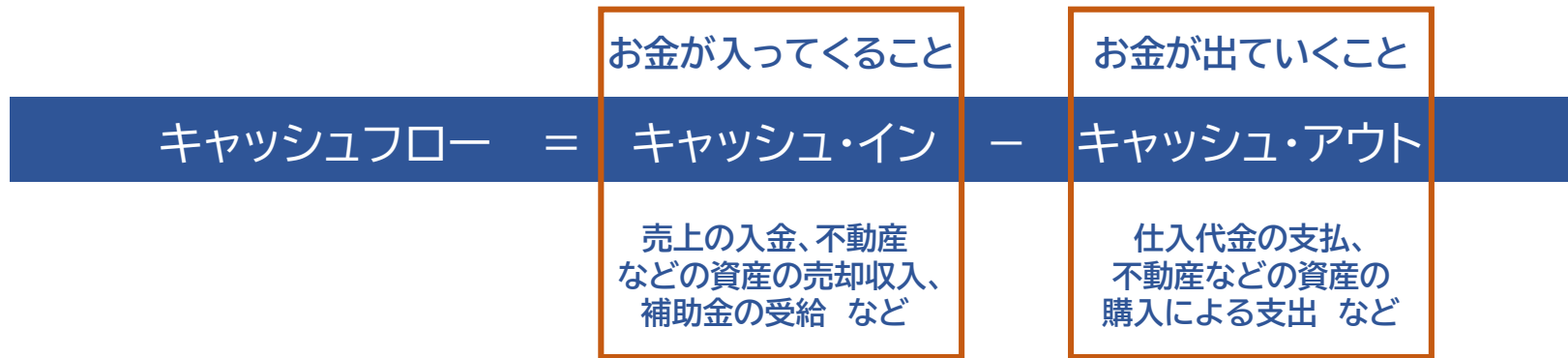
経営革新等支援機関推進協議会

CONTENTS

- 1 キャッシュフローとは
- 2 把握すべき3つのメリット
- 3 キャッシュフロー計算書とは
- 4 作成と使い方
- 5 改善ポイント

① キャッシュフローとは

キャッシュフローとは、企業が資金をどのように調達し、どのように使っているかを示すお金の流れのことです。売上の入金と支払のタイミングにズレが生じるため、資金不足を防ぐには、キャッシュフローを正確に把握し、予測しながら経営することが重要です。資金ショートを回避するためには、適切な資金管理を行い、安定した経営を目指す必要があります。



つまりキャッシュフローとは **現金での収支** = **現金での収入** - **現金での支出**

②把握すべき3つのメリット

主なメリットは、財務の安定化、信用力の向上、そして会社の成長につながります！

1. 会社の財務状況が安定する

キャッシュフローは決算書では読み取りにくいお金の流れをわかりやすく表示します。経営で最も重要な資金繰りを振り返ることで問題点を把握し、財務の改善策を立てやすくなります。

2. 金融機関からの信頼を得ることができる

キャッシュフロー計算書を作成している企業は資金管理における意識が高い会社として、金融機関から自社への信用を高めることができます。

3. 事業拡大など会社の成長につなげることができる

キャッシュフローを意識した経営をおこなうことで資金繰りが改善すると、自社が自由に使うことができるお金が増えます。借入金を減らす、手元資金で迅速に投資するなど経営がより自由となります。

③キャッシュフロー計算書とは

キャッシュ・イン・フローとキャッシュ・アウト・フローを、会計年度でまとめたものを「キャッシュフロー計算書」といいます。

会計報告の際に必ず開示される3つの重要書類(財務三表)

貸借対照表

決算の締め日(一時点)における資産・負債・資本などの残高で、財政状態を表す書類

キャッシュフロー計算書

経営で最も重要な資金繰りを振り返ることで問題点を把握し、財務の改善策を立てやすくなる書類

損益計算書

会計年度の間(一期間)に、いくらの上や支払があり、いくらのお金がいったのかを表す書類

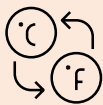


貸借対照表や損益計算書では表示されない、
お金の流れを表示するのがキャッシュフロー計算書

金融機関に
関心が高いため
作成が望ましい

④キャッシュフロー計算書の作成と使い方

経営を続けるには将来のお金の過不足を事前に把握すること！



キャッシュフロー
計算書を作成して、
お金の流れを把
握する



キャッシュフロー
計算書を分析して、
問題の原因と対
策を考える



資金繰り表を作成
して、将来の資金
の流れや余裕度合
いなどを予測する



お金の流れを改
善する対策を資金
繰りに反映させる

作成方法 税理士や専門家に相談しましょう！

貸借対照表と損益計算書から作成でき、自社で使用している会計アプリなどで作ることも可能です。
過去2～3年分のキャッシュフロー計算書を作成すると、比較しながら検討できます。

計算書を見るポイント

- ・フリーキャッシュフローは黒字か(本業の利益で投資金額を賄えているか)
- ・営業活動によるキャッシュフローは黒字か(本業のお金は回っているのか)
- ・利益は黒字か(本業の儲けは出ているのか)

④キャッシュフロー改善のポイント

◆キャッシュフローを適切に改善するためには、キャッシュフロー増減の主な原因を把握

＜こんな方におすすめ＞

- ・スタートアップやアーリーステージなどの若い経営者
- ・資金繰りが忙しい経営者
- ・成長意欲が高い経営者
- ・お金の流れが見えにくいと悩んでいる経営者

◆キャッシュフロー計算書と資金繰り表の作成による分析

1.キャッシュフローが増減する具体的な要因をつかむ

要因(例)

「売上が入金されるまでの期間の長さ」
対策:取引条件の見直しを取引先と交渉！

2.資金繰り表を作成し、資金の過不足を明確化。特定の日々の不足額を把握する
→資金不足時には、キャッシュフローの改善や金融機関との借入交渉が必要です。

資金繰りを改善するには、まずキャッシュフロー改善対策を考え、
その影響が大きい順や実行しやすい順に改善策を実行しましょう！

最後までご覧いただき ありがとうございました

▼▼今回の内容の公的サイトリンクは概要欄へ▼▼



経営革新等支援機関推進協議会